

校長室便り

平成 30 年 6 月 29 日

親の役目 大人の役目

保護者や地域の方から「丸山台中学校には、挨拶がしっかり出来て、まじめな生徒が多いですね。」という、あたたかいお言葉をいただく機会が増えました。校長としては一番うれしく感じる時です。生徒たちの純粋な心やひたむきさに触れると、我々大人の気持ちもあたたかくなるものです。

新年度になって早くも 3 か月。若葉がその緑を塗り重ねていくように成長してきた生徒たちも、夏休み前の学校生活を日々楽しそうに過ごしています。

さて今月は、外国での男の子と親との、ちょっといい話を紹介したいと思います。それは道徳の授業でも題材に取り上げられる「ブラッドレーの請求書」という話です。

ある日、少年ブラッドレーは親から家の手伝いを頼まれた。次の日、朝ごはんの時にブラッドレーは親に一枚の紙切れを渡した。それには、

《ブラッドレーからの請求書》

○お使い賃・・・1 ドル

○お掃除賃・・・2 ドル

○留守番代・・・2 ドル

合 計・・・5 ドル

と書かれていた。これを見たブラッドレーの親は・・・・・・・・・・・・・・・・。

みなさんだったらどうするでしょうか？私ならブラッドレーに、生まれた時から今までのお世話代や食費、被服費、学費等を逆に請求して、その後しっかりと説教するかも知れないと思いました。

しかしこの親御さんの対応は、ちがったようです。（続きは後段で・・・）

中学生時代は、個人差はあるものの、心身の飛躍する時期と言えます。大人からすれば気が付きにくい成長ですが、生徒たちは間違いなく日々飛躍を重ねています。そして我々が忘れてはいけないのは、大人の感覚よりも子ども達の暮らしている感覚、子ども達の日々の成長というのは、遥かに物凄いスピードで進んでいくものであることです。

そのような子ども達のために、大人がしなければならない事はたくさんあります。

小学校時代と打って変わり、自分で出来ることが増えてきます。行動範囲も広がります。また多感な時期ゆえに親や大人に反抗してくるケースも増えてきます。扱いに困ってしまい

或いは、必要以上に構わないという行動に走りがちですが、実は、子ども達はまだまだ親や大人に“甘えたい”“頼りたい”と思っています。そこをどう見極めるか、が私達の頑張りどころでしょう。

猛スピードで進んでいく中での成長過程には、失敗や困り感を抱える事もあるでしょう。

道を外した行動をした時には、場合によっては厳しく叱る（怒るではなく、叱る）こともその子を思ってがゆえに大切です。

一方、学習やスポーツ等で自己能力を十分に発揮できない、いわゆるスランプになった時、子ども達は心理的に大きな負担がかかえます。私達大人もみんなが経験したスランプ、「成長には、スランプが付き物であること」を、叱責ではなく静かに見守り、諭してあげる大人の優しさが必要です。

さらに、オトナびた（背伸びした？）行動を試すこともあるでしょう。そういう時にも私達の経験を活かす事が求められます。子育てに教科書は、どうやら無いようです。

それでは、「ブラッドレーの請求書」の続き。この親御さんのとった対応は次の通りです。

にっこりと笑って請求書を受け取り、何も言わなかった。

昼ごはんの時、親御さんはブラッドレーの皿の下に5ドルを置いておいた。ブラッドレーはそれを見て喜んだが、そのお金と一緒に一枚の小さな、親からの請求書があった。それには、

《ブラッドレーへの請求書》

○親切にしてあげた代・・・0ドル

○病気の時の看病代・・・0ドル

○服や靴、おもちゃ代・・・0ドル

○部屋代、食事洗濯代・・・0ドル

合 計 ……0ドル

と書かれていた。

これを読んだブラッドレーは、あわてて親のもとへかけて行き、「ごめんなさい、このお金、返します。そして、何でも手伝いさせてください」と言った。

この親御さん、叱りもせずに5ドルまで渡して親としての気持ちを込めた請求書を添える。親にそんなことされたら、もうここは謝るしかない。まさに教育の真理をついている話です。子どもの気持ちに寄り添いながらも、子どもの心に響くように諭す親の姿、この話を通して「かく、ありたい」と考えさせられました。（榎田 卓央）

7月の主な予定

5日（木） 2年生高校特色説明会
9日（月）～12日（木） 面談
13日（金） 大掃除
20日（金） 全校集会

《スクールカウンセラー》
6日（金） 13日（金） 20日（金）